

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立黒石養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他(情報)		
	単元(題材)名	タッチタイピング		
	単元(題材)の目標	タッチタイピングを習得しワープロ検定3級程度の文書を作成できる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 PCやタブレットの検索欄にローマ字入力することはできるが、1文字ずつキーを探しながら入力するため時間がかかる。これまで入力に関して学習したことがなく、技能検定PC分野で求められるレベルでの入力は難しい生徒である。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用したICT機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad、bluetooth キーボード		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 動物タイピング	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	パソコン室での入力練習は、教室割り当てにより左右されるため、情報の授業だけでなく、休み時間や長期休業中にも自主的に練習できるようにすることをねらった。		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 4月当初、タッチタイピング(ブラインドタッチ)が全くできなかった対象生徒に対して、キーボードの設定やアプリの使い方から学習を進めた。対象生徒は、自宅にPCは所持していないため、iPadおよびキーボードを持ち帰ることで、毎日、一定時間入力練習をする時間を確保することができた。PCに付属するキーボードと同じ仕様のものを利用したため、パソコン室でPCを操作する際にも戸惑うことなく入力することができ、ワープロ検定3・4級の課題に取り組むことができた。 			